



発行所 高知新聞社
高知市本町3丁目2-15
088-822-2111 780-8572
©高知新聞社 2002

高知大に海底研究新施設

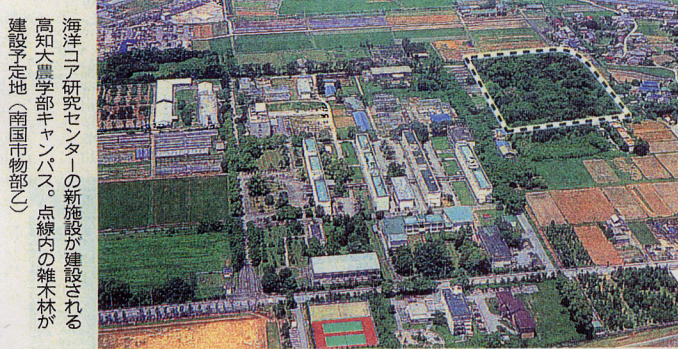
地球深部探る

国際拠点 南海地震も 来春完成

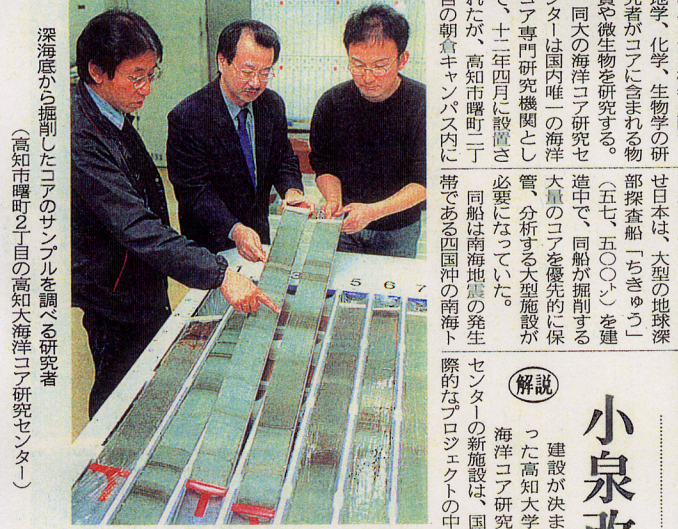
総工費48億円

十五年から日米などで始める海底の大掛かりな学術探査「統合国際深海掘削計画」(IODP)の中核となる大型研究施設が、南国市物部乙の高知大学農学部キャンパスに建設されること...

新施設は鉄筋コンクリートコアを保管、分析する一ト一部階建てで、延べ床面積は六千平方メートル。学校の大型体育館に匹敵する約三万平方メートルを深部まで筒状に抜き取...



海洋コア研究センターの新施設が建設される高知大学農学部キャンパス。点線内の雑木林が建設予定地(南国市物部乙)



深海底から掘削したコアのサンプルを調べる研究者(高知市曙町2丁目の高知大洋コア研究センター)

ラフ周辺や、太平洋、大西洋の各地で海底下を掘削。コアは高知新港経由で新施設に搬入され、同大や国内外の研究・技術者が分析に当たる。

本学は平成十二年から二十一世紀プロジェクト・海洋高知の可能性を探る一歩を進めている。栽培漁業から海底掘削まで、海洋科学研究のメッカにしていく。新施設が完成すれば、世界中から研究者が集まってくるだろう。国際的な学術研究に本学も大きく貢献できると期待されている。

統合国際深海掘削計画(IODP) 15年10月から始まる深海底掘削による地球深部の国際学術探査。IODP参加の現在の「国際深海掘削計画」が、日本独自の「深海底掘削ドリリング計画」と統合され、日米主導の新プロジェクトに生まれ変わる。日本船「ちきゅう」と米国船の2隻を使用。マートルの掘削に挑戦したり、掘削試料から地球環境の変動、地震発生帯、

メタンハイドレート(氷に閉じこめられたメタンガス)、地球深部の微生物などを調査する。四国沖の南海トラフ周辺も主要掘削海域で、南海地震の解明や発生予測の研究の進展も期待される。

地球深部探査船「ちきゅう」 文部科学省の認可法人、海洋科学技術センター(神奈川県横浜須賀野町)が、高知大学農学部キャンパスに建設される。地球深部の探査用に建造している最新鋭の海底掘削船。全長200メートル、排水量57,500トン、総建造費約7億7,500万円。平成16年度完成、18年度開始の予定。米国のジョージア・インスティテュート・オブ・テクノロジーなど従来の学術掘削船は、作業中に石油やガスが噴き出す危険から、海底2000メートル程度までしか掘削できなかったが、「ちきゅう」は防噴装置を備え、海底7000メートルというレベル上部まで掘削できると期待されている。

新施設は、海洋科学技術センターや平朝彦・東大洋研究所教授らの協力で運用。安田尚登・高知大洋コア研究センター長は「世界の海洋コア掘削は、保管と分析が同時にできる施設はほかにない。完成すれば学内外の研究者や技術者四十人ほどが常駐し、海外の研究者も多く出入りする施設になるだろう」と国際的にも誇れる施設になることを強調する。

小泉改革で急展開

建設が決まった高知大学海洋コア研究センターの新施設は、国際的なプロジェクトの中核基地に変わり、総工費は四十八億円に及ぶ。高知大の平均的な年間予算額の半分を超える規模だ。

同センターは十三、十四年度予算の概算要求の開示。十三年度第二次補正予算案で、要求額の内、

倍、四十八億円もの大型施設と化して同大に舞い込んできた。

「統合国際深海掘削計画」(IODP)を主導する日本が建造している海底掘削船「ちきゅう」が完成すれば、掘削した大量の試料(コア)を保管、分析する大型施設が必要不可欠となる。

当初、文科省の認可法に位置付けられた。同大幹部も「まさに棚からぼた餅」(社会部科学班・高橋)

同大の海洋コア研究センターは国内唯一の海洋コア専門研究機関として、十二年度に設置されたが、高知市曙町二丁目朝倉キャンパス内に帯である四国沖の南海トラフ周辺に建設される。同大の海洋コア研究センターは国内唯一の海洋コア専門研究機関として、十二年度に設置されたが、高知市曙町二丁目朝倉キャンパス内に帯である四国沖の南海トラフ周辺に建設される。

同大の海洋コア研究センターは国内唯一の海洋コア専門研究機関として、十二年度に設置されたが、高知市曙町二丁目朝倉キャンパス内に帯である四国沖の南海トラフ周辺に建設される。

同大の海洋コア研究センターは国内唯一の海洋コア専門研究機関として、十二年度に設置されたが、高知市曙町二丁目朝倉キャンパス内に帯である四国沖の南海トラフ周辺に建設される。

同大の海洋コア研究センターは国内唯一の海洋コア専門研究機関として、十二年度に設置されたが、高知市曙町二丁目朝倉キャンパス内に帯である四国沖の南海トラフ周辺に建設される。

同大の海洋コア研究センターは国内唯一の海洋コア専門研究機関として、十二年度に設置されたが、高知市曙町二丁目朝倉キャンパス内に帯である四国沖の南海トラフ周辺に建設される。

同大の海洋コア研究センターは国内唯一の海洋コア専門研究機関として、十二年度に設置されたが、高知市曙町二丁目朝倉キャンパス内に帯である四国沖の南海トラフ周辺に建設される。